

2025年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	014	訓練分野	A.生産管理－管理手法
コース名	製造分野におけるDX推進		
正式な コース番号・ コース名	25-25-12-129-014 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 － ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2025/7/16（水） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	守山商工会議所 滋賀県守山市吉身3-11-43 JR守山駅西口徒歩15分、近江バス堅田行き（1番のりば）市役所前下車徒歩1分、埋蔵文化財センター行き（3番のりば）市民病院前元町北下車徒歩3分、守山商工会議所駐車場（無料）、守山市役所駐車場（有料） TEL：077-582-2425		
対象者	中堅層・管理者層 ●製造現場で利用されているデジタル技術やデータの活用方法を知りたい方 ●自社に合ったデジタル化を図りたい方		
習得する スキル等	●製品やサービス、ビジネスモデルの改革（DX）を推進して、生産性向上、ビジネス競争力を獲得する方法		
ポイント	(1) 製造業においてDXが成功するために必要な要件を理解していただきます。 (2) 企業におけるDX推進活動に有効な考え方を説明し、自社の今後のDX活動の構想が描けるように進め方を学んでいただきます。実際に考えて、グループ討議を重ね、議論することで新しい気づきを発見していただきます。 (3) 演習を通じて、自社の生産プロセスを革新するためのDXの方策を検討していただきます。		
	1 製造業におけるDXの理解 (1) DXとは 【セルフワーク】 ・新しい価値を創造するDX ・製造業におけるDXが目指すもの ・なかなか進まないDX 【演習①】DX推進の現状把握/セルフアセスメント (2) スマート化を目指す ・スマートファクトリ ・スマートプロダクト ・スマートサービス (3) DXの狙い 【セルフワーク/グループ討議】 ・業務革新と顧客価値の創造 ・製造業におけるDXが目指すもの ・DX推進の課題認識 【演習②】DX推進の課題認識 2 DX実現事例 (1) スマートファクトリ実現事例 ・製造部門におけるDXの紹介		

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術で解決する事例 		
	<p>(2) DXで解決したいものづくりの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・属人化した仕事の標準化 ・現場改善にも使えるデジタルツール <p>(3) データドリブンのものづくり 【セルフワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社最適で推進するDX ・開発～製造～サービスをデータで繋げる ・QCD管理データの棚卸し <p>【演習③】 QCD管理データの棚卸し</p> <p>3 DX推進の目標設定と解決策</p> <p>(1) ものづくりの課題抽出 【セルフワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を見える化 ・解決したい職場の課題 <p>【演習④】 デジタル化で解決したい現場の課題</p> <p>(2) 製造分野のデジタル化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化を進める ・全体最適で推進するDX <p>(3) 様々な課題をDXで解決する 【セルフワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DX推進体制の整備 ・DXの目的、目標設定 ・業務革新、顧客価値創造に向けて <p>【演習⑤】 記録データ活用の仮説検討</p> <p>4 DX推進の計画と実行</p> <p>(1) データドリブンものづくり実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PoCによるPDCA活動について ・計画と実績の見える化 ・データ収集、蓄積、加工 <p>(2) 社内部門連携で進めるDX 【セルフワーク/発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社的横断的なDX組織づくり ・中長期DX推進の実行計画の策定 ・DXの推進 <p>【(選択) 演習⑥】 DX推進マップの作成ORビジネスモデル構想</p> <p>(3) 社外資源の活用と連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム開発の手順 ・開発手法について <p>(4) DX推進人材育成と人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DXを推進するために必要な技術と人材 ・人材育成の要点 		
実施機関	パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社		
定 員	15 名	受 講 料	3,300 円 (税込)
使用ソフトウェア	-		
持参品等	筆記用具		
備 考	-		
	知識やスキルの習得に加えて、職場ですぐに実践できるように、ポイントごとに個人やグループの演習を組み込んでいます。		